

グループホームで暮らし本人の楽しむ共生社会

～資源を活用して、自分らしく暮らす～



地域生活支援事業部 緒方 隆

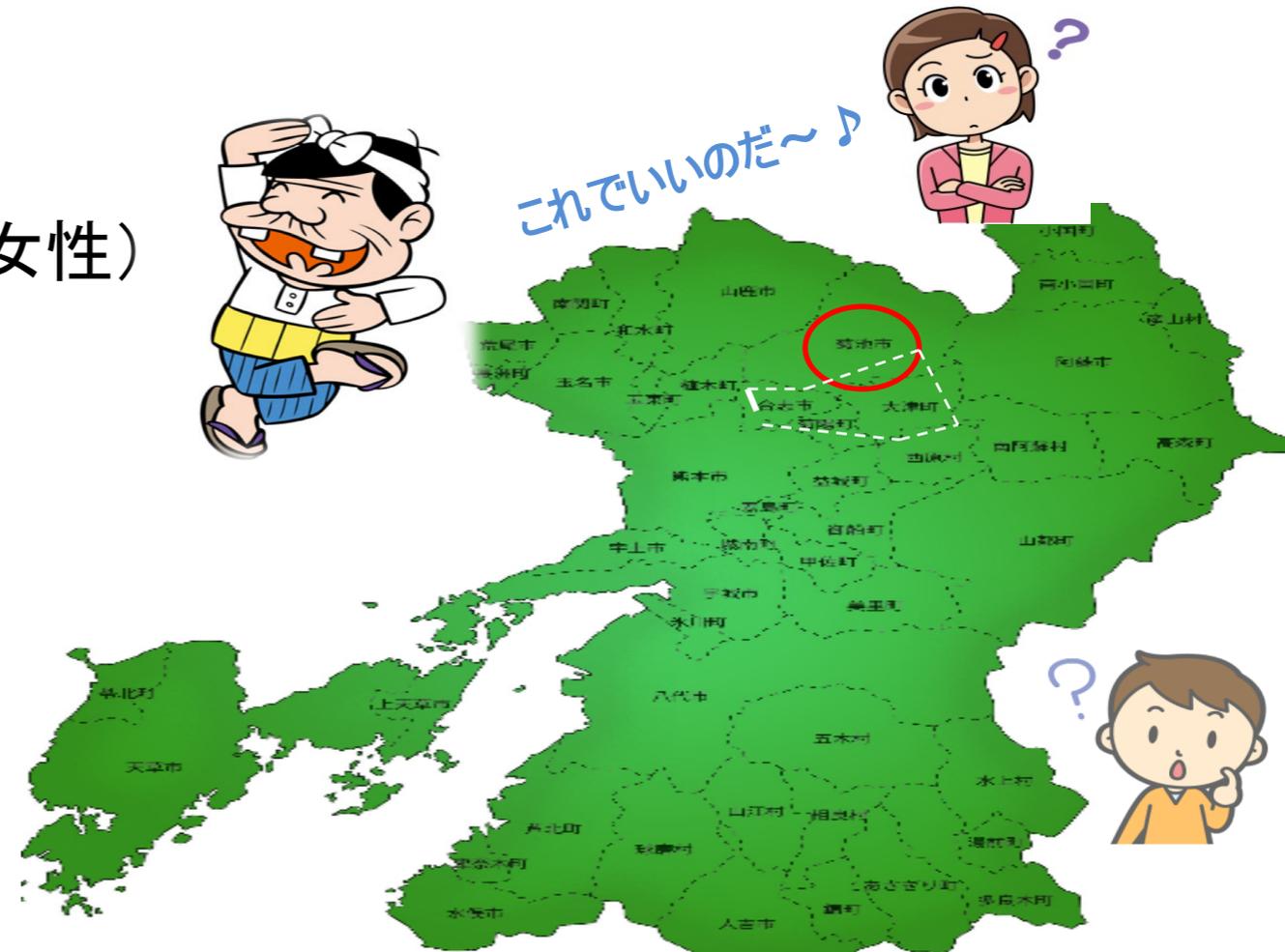
熊本県菊池市について

熊本県北部を流れる菊池川の上流、熊本市から北東約25kmの場所に位置し、菊池温泉、菊池神社、菊池溪谷が観光スポットとなっている。また、菊池溪谷においては、日本名水百選にも選ばれており、米の生産にあたっては、「七城のこめ」が全国の名産米を集める食味会において2度に渡り全国1位に輝いている。

菊池市出身の代表的な有名人は、天才バカボンのパパが菊池市七城中学校出身という設定となっている。

人口: 48,979人(2019年4月時点)
男女比率: 23,460人(男性)、25,519人(女性)
年齢別: 6,427人(0歳~14歳)
26,722人(15歳~64歳)
15,830人(65歳以上)

身体障害者手帳所持者 2,419人
療育手帳所持者 485人
精神障害者手帳所持者 353人
計 3,257人 (人口対比6%)



社会福祉法人菊愛会について



ライフステージに応じた 幅広い世代への支援を

『社会福祉法人 菊愛会』は、昭和57年に産声を上げ、今年で35周年を迎えました。利用者の皆様をはじめ、地域の皆様、ご協力いただいている皆様方に厚く御礼を申し上げます。

当会では、人間が生まれてから最期を迎えるまで、ライフステージすべてに寄り添う福祉支援を提供したいと考えています。そのためには、既存の制度内だけではなく、前例のない支援の仕組みを立ち上げ、普及させていく努力も不可欠です。困難な場面も多々ありますが、自ら考え、未来を切り開いていくスタッフとともに歩みを進めてきました。利用者の皆様と私たち職員が、それぞれの人生を笑顔で送れる組織づくり。その挑戦は、これからも続きます。



法人ロゴマークのコンセプト

- **心**(利用者さんの心・職員の心)という漢字をイメージし、温かみのある色で手書きのラインをデザインし、心を腕(法人カラーの緑で表現)で包み込むようなイメージで作りました。
- **心**に使われている3つの円は法人理念(感・共・和)をイメージし、常に職員の内心中に持っておくという意味と利用者さん(心)を大事にしていく(包み込む)という意味で作りました。

- 私たちは、**感謝・感動・感激の心**を最も大切にします。
- 私たちは、**繋がり**と**和**を重んじ、**共育・共栄**に努めます。
- 私たちは、常に**向上心・探究心**を持ち、**自己研鑽**に努めます。
- 私たちは、**地域づくり・地域福祉**に貢献します。

大切にしたい価値観が出来るまで

法人理念「感・共・和」をもとに一つひとつの価値観に対してキーワードを出し合い、それをまとめて『大切にしたい価値観』というものを作りました。

多機能拠点整備型での全体図



- 輝なっせ
児童発達支援、放課後等デイサービス、保育所等訪問支援、日中一時支援
- 菊池圏域地域療育センターゆうず
在宅支援訪問療育等指導事業
在宅支援外来療育等指導事業
施設支援一般指導事業
- 子どもの学習援助事業・地震対策分
- 多機能型支援事業所 笑みっこ
児童発達支援、放課後等デイサービス
- 企業主導型保育所 りとる♡まむ



○生活介護事業所 ほほえみ



○障がい者サポートホームわらび
施設入所支援、生活介護
短期入所(日中一時支援含む)



○共同生活援助 あおぞら(4ホーム)
イズム(9ホーム)



○旅館 清流荘
短期入所(単独型)、就労継続支援A型



- 相談支援事業所 コミュニティはうす明日
計画相談支援(障害児含む)、委託相談
地域移行支援・地域定着支援
自立生活援助、菊池市障がい者虐待防止センター
生計困難者レスキュー事業(社会貢献事業)
- 障害者就業・支援センターがまだす
- 生活困窮者自立相談支援事業(山鹿市)
- 生活困窮者就労準備支援事業(熊本県)
- 八代市被保護者・生活困窮者就労準備支援事業
- 大津町地域支え合い生活自立支援事業



学ぶ



楽しむ



暮らす



働く



○就労支援センターかもん・ゆ〜す
就労継続支援B型



○強度行動障害支援者養成研修事業



○地域ふれあいホームつどいなっせ
○地域活動支援センター(Ⅲ型)つどい
○日中一時支援事業 ふる〜る



○在宅支援センターへるぶなっと
居宅介護、重度訪問介護、
行動援護・同行援護・移動支援



○養護老人ホーム ふじのわ荘、こすもす荘



○地域密着型通所介護事業 みちのうえ
○生活介護事業所 すまいる
○居宅介護支援事業所 ゆめぷらん
○訪問介護事業所 たまゆら
○法人本部

熊本県菊池市における地域生活支援拠点等について

平成30年3月に菊池市より依頼を受け、社会福祉法人菊愛会において、障害者の高齢化・重度化や「親亡き後」を見据え、また、障害者の地域生活を推進していく観点から、障害者が住み慣れた地域で安心して暮らしていただけるための支援や緊急時における障害児・者への居住支援及び日中支援を法人全体で切れ目なく提供を行うこととしている。

実施地域について

熊本県菊池市において実施。

整備類型について

多機能拠点整備型において運用を実施。

支援対象者について

知的障害者、精神障害者、発達障害者、その他の心身の機能の障害者（難病等）、障害児
なお、現に障害福祉サービスの利用対象であるか否かは問わない。

また、平成32年度末までに菊池圏域2市2町（菊池市・合志市・大津町・菊陽町）において、プラス面的整備型で運用していく予定。

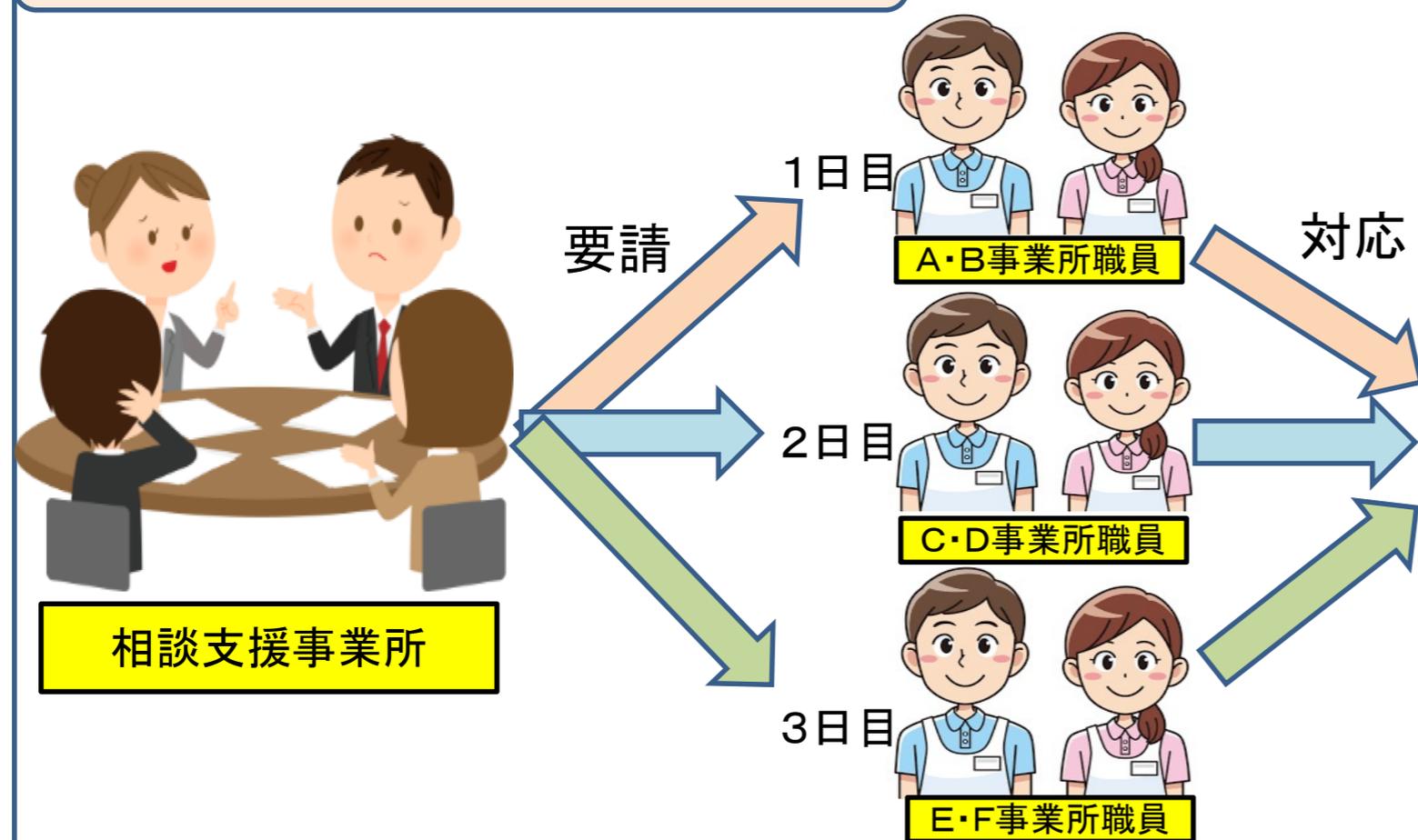


菊愛会における緊急時の居住支援時の対応について

法人内で地域生活支援拠点等検討会を立ち上げ、定期的に拠点の運用に関して様々な議論を行っているところであるが、居住支援時(夜間)の職員配置に関しては、現在、法人各事業所のスタッフが当番制等によって対応することを検討している。

緊急時における居住支援の対応については、職員配置上の課題であることが想定される。

例えば、3日間居住支援を行う場合



社会福祉法人 菊愛会 GH

地域生活支援事業所イズム

- ・事業開始：平成9年4月1日
- ・ホーム数：9ホーム
- ・平均年齢：47.6歳
- ・平均区分：3.4
- ・男女比：男性19名 女性20名
- ・人員配置：生活支援員10名
世話人 13名
- ・その他
余暇支援：GH活動、地域活動支援
センター利用、移動支援
行動援護
医療連携：訪問看護ステーション
医療機関
夜間対応：宿直1名

地域生活支援事業所あおぞら

- ・事業開始：平成25年3月31日
- ・ホーム数：4ホーム
- ・平均年齢：52歳
- ・平均区分：6
- ・男女比：男性10名 女性10名
- ・人員配置：生活支援員19名
世話人 7名
- ・その他
余暇支援：GH活動、行動援護
医療連携：訪問看護ステーション
医療機関
栄養管理：管理栄養士（連携）
夜間対応：夜勤4名

社会福祉法人 菊愛会 GH

地域生活支援事業所イズム

日中活動先（主に平日）

- ・一般就労10名
- ・就労継続A型事業所9名（菊愛会）
- ・就労継続A型事業所2名（他法人）
- ・就労継続B型事業所5名（菊愛会）
- ・就労継続B型事業所9名（他法人）
- ・生活介護事業所3名（菊愛会）
- ・その他
生活介護と高齢者デイサービス併用

地域生活支援事業所あおぞら

日中活動先（主に平日）

- ・生活介護事業所17名
- ・就労継続B型事業所併用者含む
- ・就労継続B型事業所3名（他法人）

あおぞら基本情報

指定日：平成25年3月31日

定員：20名（合計4ホーム）

○ポプラ棟（男性5名） ○ライラック棟（男性2名女性3名）

○ミモザ棟（女性5名） ○オリーブ棟（男性3名女性2名）

男女比：男性10名・女性10名

平均年齢：52歳

平均支援区分：6

障害年金1級：20名

特別障害者手当受給者：13名



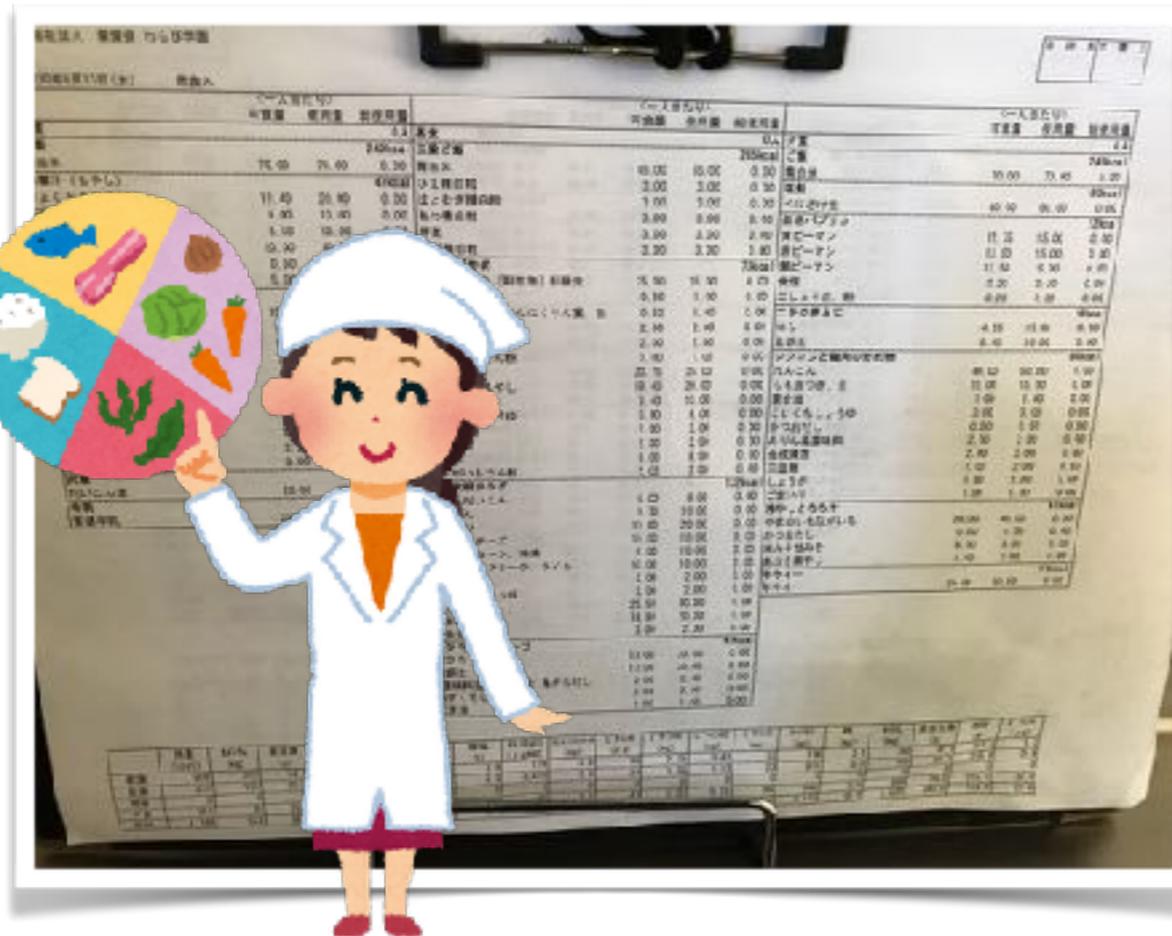
あおぞらスタッフ

	令和元年	開設当初
管理者	1名	1名
サービス管理責任者	1名	1名
生活支援員	19名	12名
世話人（代替世話人含む）	7名	5名
看護師（訪問看護師）	5名	0名
<u>計</u>	<u>33名</u>	



食事は？

- 管理栄養士がたてる献立表を参考にアレンジ
- リクエストに応じて個別メニュー
- 世話人のこだわりミキサー食



お休みの日は？



～希望に応じて選択～

★GH活動 毎月1回程度実施
(BBQ・秋祭り等)

★行動援護 希望に応じて外出
(個別支給時間内)

★買い物支援 希望に応じて実施

★その他



入居者旅行
(入居者負担)



健康面は？



●医療連携体制加算を活用

【訪問看護ステーションと委託契約】

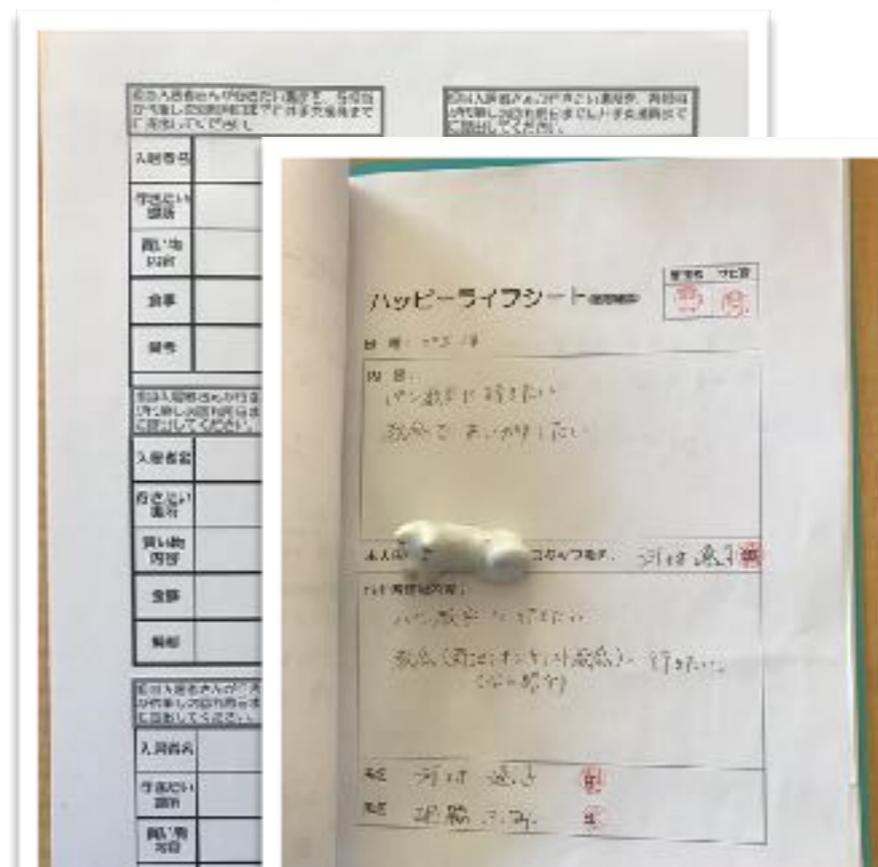
- 医療連携体制加算（Ⅰ）を算定すると
→専門的な知識で医療機関との連携強化で安心
- 医療連携体制加算（Ⅴ）を算定すると
→24時間急患にも対応してくれる
ので、夜勤業務中も安心



要望の確認



食べたいものを選んでもらう



希望をヘルパーへ伝える

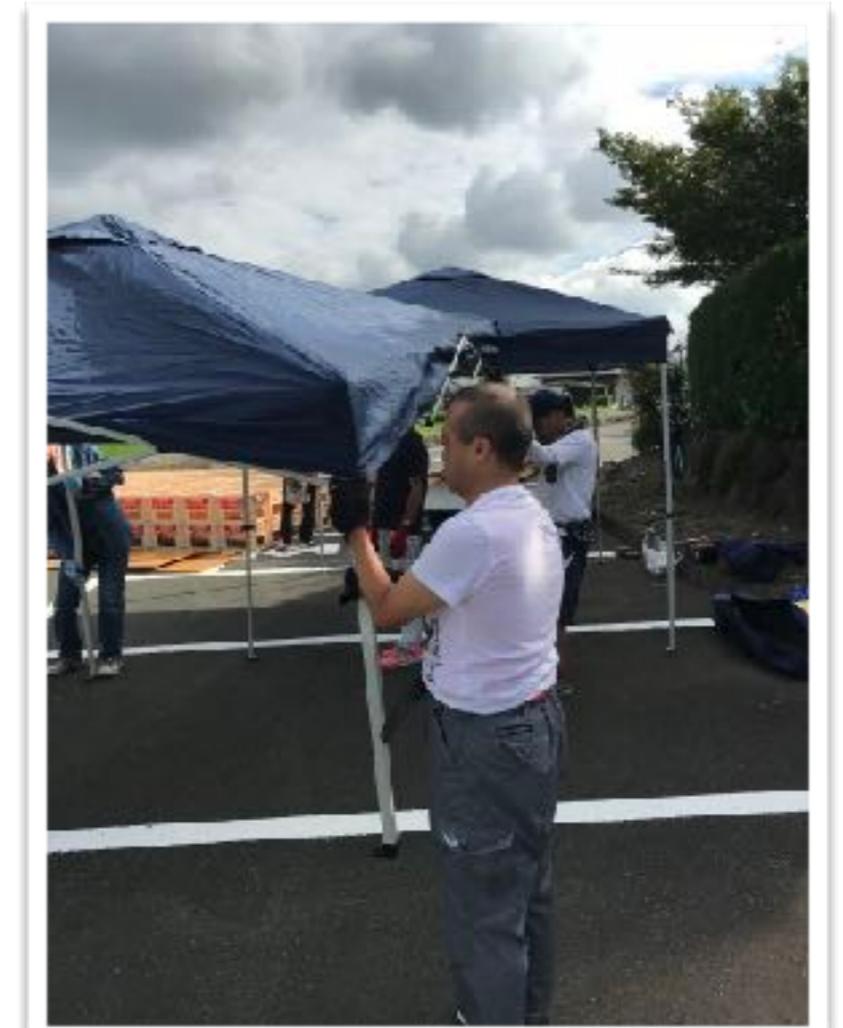


確認のポイントは??

複数で意思確認を行う事で、パターンリズムを回避!

地域との関わり？

- ・ 地域貢献 清掃、イベントへの招待
- ・ 地域協力 区役員会への参加





グループホームで暮らす本人の楽しむ共生社会

体験しないと…意思表示できない。

男性Aさん

53歳



年金1級

特別障害者手当受給

支援区分6

行動援護48時間/月

グループホームで暮らす本人の楽しむ共生社会

～ストレングスを通して楽しみを増やす～



学生時代に吹奏楽部に所属していた。 その頃覚えた曲を卒業後も時折り弾いていた。 しかし、意にそぐわない事があるとギターが凶器になっていた…

月日が流れ、施設入所からGHへ居住の場所を変えられた際にスタッフより提案が…

リフレーミング



自分らしい 一つの楽しみ

ストレングス（興味、関心）：ギター演奏や音楽鑑賞

これまでの楽しみといえは、実家へ帰省してゆっくり過ごすことだった。しかし、ご家族の高齢化等の事情で帰省が出来ない状況が増え、本人の楽しみが減っていた。

そんな時にスタッフからギター教室への提案が…本人の希望もあり、月に数回ギター教室へ通うことで福祉関係者以外の関わりが増えた。

効果：ギターコード等の技術向上・ギターを大事にする

気持ち・ギターを通して地域のイベントへのお誘い等々

女性Bさん

33歳



年金1級

特別障害者手当受給

支援区分6

行動援護100時間/月

グループホームで暮らす本人の楽しむ共生社会

～自分らしく計画的に楽しみを増やす～



関東よりいくつも施設を見学され、菊愛会へ…

周囲の動きや音が時に気になる…

気になった事は、すぐにしないと不安になる…

GHへ居住の場所を変えられた際にスタッフより提案が…

リフレーミング



自分らしい 一つの楽しみ

計画が無いと不安が…トラブルに繋がってしまう…

だから、日々の生活を計画的に過ごす😊

楽しみなのは、週に2回の外出、飲食店・ショッピングセンター等を体感して、行き先や食べたいものが具体的に
なってきた。 選ぶ写真に無いお店も言葉で、教えてい
ただける✨

・数年に1度の故郷、東京への旅行も楽しみ💖



男性Cさん

54歳

年金1級

支援区分6

特別障害者手当受給

行動援護30時間/月



グループホームで暮らす本人の楽しむ共生社会

～持病と向き合い、自分らしく楽しみを増やす～



約30年程、入所更正施設で生活をされてきた…

人との関わりが苦手…

自分がやりたいと思った事以外は、断固拒否❗

リフレーミング



自分らしい 一つの楽しみ

GHではやりたい事を行動援護で実際に体験できるので、お部屋で過ごされることも少なくなり…

関係者が無理だと考えていた透析も順調に治療することが出来ている…

1番の楽しみは、テレビで観たお洒落なお店に行ったり、新幹線に乗って旅する事（特にぶらり男旅）



男性Nさん

35歳

年金1級

支援区分6

行動援護30時間/月

自分らしく今を生きる

～色んなことを経験しながら、自分のペースでぼちぼち暮らす～



出合い

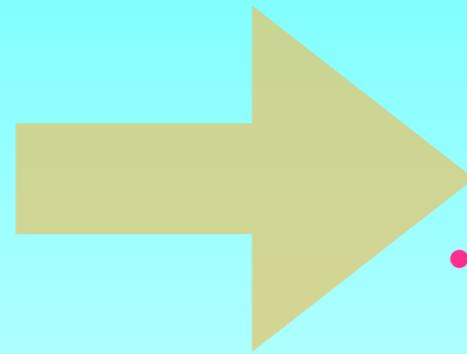
初めての出合いは、平成19年9月。高等部卒業後、熊本県内6カ所の施設を半年程で入退去され、しばらく在宅生活を送るも複雑な家庭環境や交友関係の悪化により、当法人の入所施設に緊急入所となる。

入所前の秘話（酸いも・甘いも経験）

入所施設の提案

在宅生活

- ・ 食事は、食べたり食べなかったり
- ・ 警察のお世話になることが多い
(触法行為)
- ・ 不当な就労に従事



施設生活

- ・ 食事に困ることが無い
- ・ 定期的に外出の機会がある。
- ・ 年金受給により安定した収入

入所施設（菊愛会）

施設でのエピソード（困った時は…）

本人は、遊びに行きたい。でも施設では、個別に行けない。

一人で外出してもすぐに警察に通報されてしまう。
だから…親分さんへ連絡してしまう。

でも、時々…怖いんだよね🙄

自分の想いを組んでくれるから…

怖いけど、親分さんと自由に外出したい💢

マイライフ探し

楽しみとえば、のど自慢大会・カラオケ等々

もっと色々街で体験したい。

貴方達もそうしてるでしょ❗

本人の思い：そろそろ施設を出たい！好きな時に好きな

場所へ自由に外出したい。

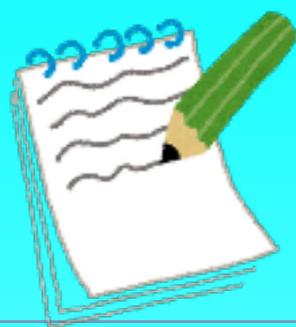
GHへ入居



約10年間の入所施設を経て

平成29年10月～現在

希望：自分のペースで生活して、色々な所へ行きたい



スケジュール



自分で決めて
スケジュール表に書くと、
自分で決めたあ～
って実感が湧く。
自分で、いつ休むかを決め
るとストレスも溜まら
ないって気付いた！



ライフスタイルの変化で…



【施設入所での本人】

- ①皆で活動がめんどくさい
- ②自分の思いを伝えれない
- ③予定は、自分で決めたい
- ④お小遣いを増やしたい

【現在の本人】

- ①ヘルパーと個別外出
- ②思いを交換日記で伝える
- ③活動利用日は、自分で決める
- ④B型利用で、給料UP

今現在、本人の希望が100%叶ったわけではないが、GHの環境と自分の欲求がマッチングしたようで、課題としていた部分が少なくなっている（スタッフ談）

マイライフの為に…

サポートイノベーション（革新）

新たな支援や環境を作り出す知識や技術の獲得
社会からの視点では、問題行動や課題と囚われてしまう
ことに対して、視点を変えて見ることで強みであったり長
所であることが往々にしてあると感じています。

私達は入居者一人一人の【意思決定プロセス】を大事に
積極的に【資源全体】を【活用】し社会の中で、当たり前
前に生活する事で【価値観】の共有を図りたいと考えて
います。

社会型GH（楽しみながら共生文化）

「ちょっと待って、自分で決めるから…」

私達はこの言葉を大切にしたい…

意思決定支援の重要ポイントは、入居者が生活する中で“色々な経験を積み重ねる機会を増やすこと”だと考えます。

私たちスタッフは「失敗・危険」回避よりも「選択・希望」実現の取り組みを大切にします。

楽しみながら共生社会で生きる**力**になると信じて 



地域生活支援事業所 イズム・あおぞら



ご静聴ありがとうございます

ございました